

2026年 8月 31日

綜研化学株式会社

浜岡事業所へCO₂フリー電気を導入

－ 国内全事業所におけるCO₂排出量の約3.7%を削減 －

綜研化学株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役 社長執行役員:富田 幸二)は、2026年4月1日より、浜岡事業所(静岡県御前崎市)で使用する電気の一部に、CO₂フリー電気を導入しました。

本取り組みは、中部電力ミライズ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役 社長執行役員:中川 治)を通じて実施するものです。当社は今後も、持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティ経営を積極的に推進してまいります。

CO₂フリー電気とは？

発電時にCO₂を排出しない再生可能エネルギー電源に由来するCO₂フリー価値付きの電気のこと。

「地球温暖化対策の推進に関する法律」(温対法)の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、利用者はCO₂排出係数をゼロとしてCO₂排出量を算定することで、環境マネジメントに活用することができます。



出典:中部電力ミライズ様 ホームページ

● 導入の背景

当社はこれまで、省エネルギー活動を通じたエネルギー使用量の削減に継続的に取り組むとともに、再生可能エネルギーの積極的な導入などにより、CO₂排出量の削減を進めてまいりました。

今回導入したCO₂フリー電気は、非化石証書に基づく環境価値を活用し、使用電力に伴うCO₂排出量を調整することで、CO₂排出量を実質的にゼロとする取り組みです。

● 導入の効果

本取り組みにより、浜岡事業所では、年間約253トン(※)のCO₂排出量削減効果を見込んでいます。これは、当社国内全事業所におけるCO₂排出量(2013年度比)の約3.7%に相当します。当社は今後、2030年度末までの5年間にわたり、同事業所における使用電力の10%以上をCO₂フリー電気として継続的に調達する計画です。

※ 中部電力ミライズ株式会社の2025年度CO₂排出係数(基礎排出係数)を基に算定

2026年 8月 31日

綜研化学株式会社

● CO₂排出量削減に向けた取り組みと進捗

当社は、サステナビリティ活動における重要課題(マテリアリティ)の一つとして、CO₂排出量(Scope1・2)の削減に取り組んでいます。その目標として、2030年度までに2013年度比32%削減を掲げています。これまでの主な取り組みは以下のとおりです。

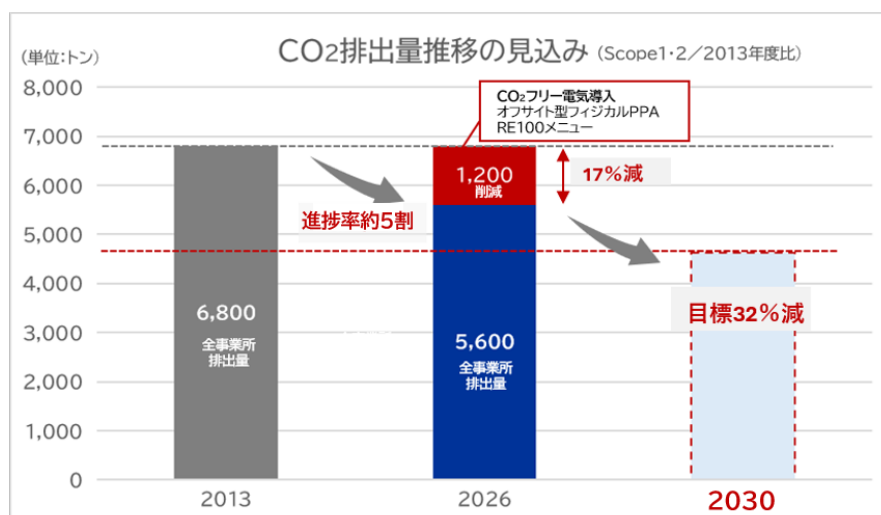
[2025年度]

- ・本社電力の100%を再エネ電力(RE100メニュー)へ切り替え ※2025年7月エネサーブ株式会社より提供
- ・[浜岡事業所にてオフサイト型フィジカルPPAを導入](#)

[2026年度]

- ・浜岡事業所にてCO₂フリー電気を導入(本リリース)

これにより、2026年度の排出量は約5,600トンとなる見込みであり、2030年度目標(32%削減)に対し約5割の進捗に相当します。当社は今後も再生可能エネルギーの導入をはじめとする取り組みを推進し目標達成に向けてCO₂排出量削減を進めてまいります。



本件に関するお問い合わせ先

綜研化学株式会社 〒171-8531 東京都豊島区高田3-29-5

[サステナビリティについて](#)

サステナビリティ推進部

TEL : 04-2952-9802

[報道関係者のお問い合わせ](#)

IR・広報室

TEL : 03-3983-3268

E-Mail : investor.b5p.relations@sokenchem.com